

エコアクション21

環境経営レポート



対象期間：令和 5年 3月1日～令和 6年 2月29日

未来を切り開く「信頼と技術」



株式
会社

富士電工



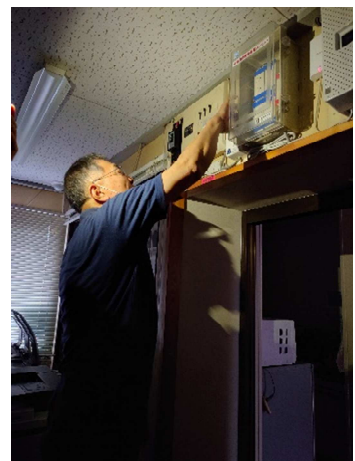
エコアクション21[®]
認証番号 0004430

令和5年度環境経営レポート

- Contents -

1. 組織の概要	P 1
2. 組織及び実施体制	P 2
3. 環境方針	P 3
4. SDG s への取組	P 4
5. 環境目標	P 5
6. 令和5年度部門別環境活動計画	P 6
7. 環境目標の取組結果の評価	P 7
8. 環境実績	P 8
9. 令和5年度部門別環境活動実績	P 9
10. 環境活動	P10～13
11. 環境活動の実施状況評価	P 14
12. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画（次年度の取組内容）	P 15
13. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P 16
14. 代表者による全体評価と見直し	P 17

☆停電を想定し発電機を使用した事務所内電源復旧訓練☆



1. 組織の概要

◆事業所名及び代表者名

株式会社 富士 電 工 代表取締役 池 谷 孝 宣

◆所在地

〒425-0081 静岡県焼津市大栄町2丁目5番2号

◆連絡担当者及び連絡先

環境管理責任者：飯塚彰子 環境管理担当者：小林尚貴

TEL：054-626-5636 FAX：054-626-5638

E-mail：info@fuji-dk.com URL：http://fuji-dk.com/

◆建設業許可及び事業内容

特定建設業：電気工事業

静岡県知事（特-01）第25827号（有効期限：令和7年2月24日）

一般建設業：建築工事業、電気通信工事業

静岡県知事（般-01）第25827号（有効期限：令和7年2月24日）

事業規模 決算期間（期首 3月1日 期末 2月末日）

活動規模	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	百万円	390	634	327	566	499	403
従業員	人	16	17	16	15	14	16
床面積	m ²	238.39	238.39	238.39	238.39	238.39	238.39

～ (株)富士電工について ～

電気設備工事のスペシャリスト集団として平成4年6月静岡県焼津市に本社を構え、

生活に欠かせない電気設備を提供することで地域に貢献してきました。

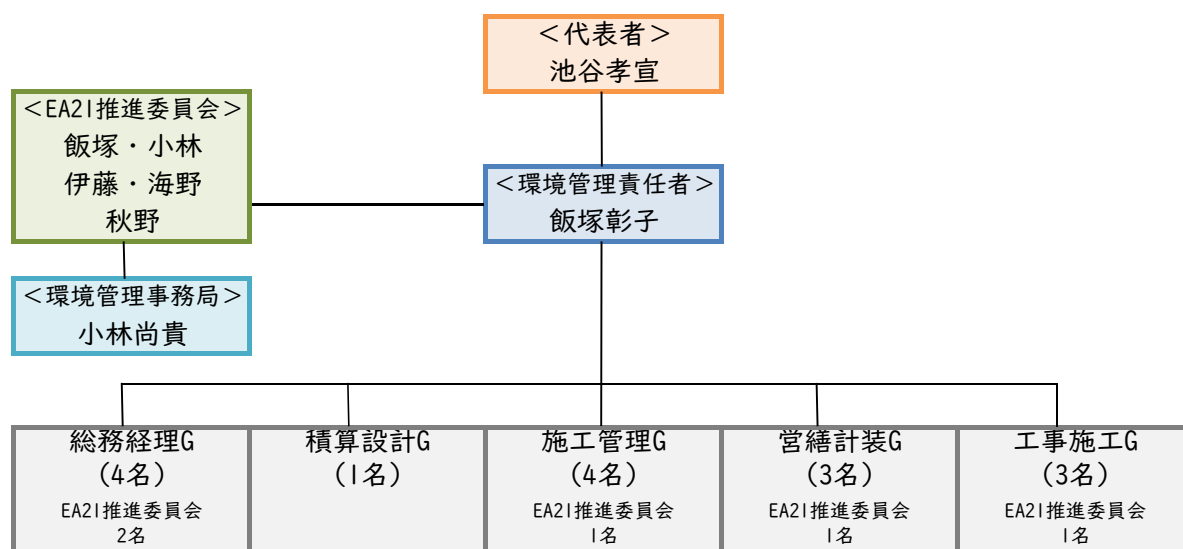
現場調査からご提案・設計、見積、施工、アフターサービスに至るまでトータルにサポートする

一貫した体制を整えており、豊富なノウハウの基、ご提案させていただいております。

静岡県中部を中心に公共施設・水産加工場・超低温冷蔵庫・介護施設・油/LPG油槽所等をメインとし、

あらゆるニーズに対応できる企業を目指しています。

2. 組織及び実施体制



＜各部署の役割＞

代表者	◇環境方針の策定 ◇環境管理責任者の任命 ◇環境システムの定期的見直しの実施 ◇環境システムに必要な資源(人材・設備・資金)の準備 ◇緊急時の統括 ◇経営における課題とチャンス明確化
環境管理責任者	◇環境システムの確立、実施、維持管理を継続的に推進 ◇環境システムの実績報告 ◇環境システムの教育、訓練計画の実施責任者 ◇問題点の是正及び予防処置の対策指導
環境管理事務局	◇環境システムの実績報告作成
EA2I推進委員会	◇環境システム実施に伴う準備、実績確認 ◇環境システムの教育、訓練計画の立案
総務・経理G 積算設計G	◇光熱費、CO ₂ -用紙使用量削減の推進 ◇一般廃棄物排出量の削減 ◇ガソリン、軽油の使用量管理、低燃費走行の推進、実施
施工管理G 営繕計装G 工事施工G	◇産業廃棄物排出量の削減、ゴミ分別処理の徹底 ◇半端材料の再利用、蛍光灯・電池類の適正処理 ◇車両、工具の定期点検の実施 ◇ガソリン、軽油の使用量管理、低燃費走行の実施

※各部署の担当者は、担当部署の役割のみならず、連携を取りながら活発に意見交換し環境システム改善に努める。

※立案された環境改善計画、目標に対して、全社員、全力で取り組む。

◆エコアクション21認証・登録日 : 平成21年12月 8日

◆環境経営レポート 対象期間 : 令和 5年 3月～令和 6年 2月

作成日 : 令和 6年 4月30日

3. 環境方針

【基本理念】

株式会社富士電工は、

「お客様の満足と信頼を大切に、常に安全で品質の高い技術を提供する」ことを経営理念とし
公共・民間の電気設備工事を通じて地域社会に貢献してきました。

環境問題が大きく取り上げられている現代において、老朽化による設備改修等顧客からの
要望に応え、環境に配慮した提案・施工が必要不可欠です。

当社は、社員一人一人が環境活動の推進により地球環境の保護及び地域社会の環境向上に
積極的に取り組んでいきます。

また、活動を継続していくためにベテランから若手への技術継承、社員同士の意見交換を
積極的に行っていきます。

【行動指針】

1. 電力消費量の削減及び、ガソリンの使用量を削減し、CO2排出の低減に努めます。
2. 一般廃棄物、産業廃棄物の排出量、及び水使用量の削減に努めます。
3. 社内で使用する事務用品をはじめ、お客様に提案する製品もグリーン購入適合品を
積極的に提案していきます。
4. 省エネ商品の提案、及び環境に配慮した工事の提案を推進していきます。
5. 講習会を充実させ、技術継承や環境関連の知識向上に努めます。
6. 環境関連の法規等を遵守します。
7. 環境経営の継続的改善を実施します。
8. 環境方針、目標を全社員に徹底し、環境保全・省エネルギーに対する継続的改善、
向上に努めます。

制定日

平成 21年 4月 20日

改訂日

平成 22年 2月 21日

令和 元年 9月 20日

令和 5年 9月 29日

株式会社 富士電工

代表取締役 池谷孝宣

4. SDGs への取組

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

（外務省HPより抜粋）

< 当社の取組 >



- ① エコアクション2Iを取得し、環境に配慮した商品の提案・施工
- ② 社用車をハイブリット車、(HV) (PHV) 車などに順次更新し、二酸化炭素排出の減少を促進する



- ① 健康経営優良法人に認定、年1回の健康診断受診
- ② 月1回安全朝礼の実施



- ① 資格取得・社外講習・教育訓練の支援、社内講習の実施
ベテラン社員による技術継承
- ② 年1回高校生・大学生向けインターンシップの実施



- ① 定年後の再雇用(人財の確保)
- ② 年1回社員による自己評価・面談の実施



- ① 顧客満足度アンケートの実施



- ① 富士電工BCPIに基づき年1回社内訓練と焼津市シェイクアウト訓練への参加
- ② 静岡県、焼津市との災害協定締結に基づき、出動要請応諾訓練への参加
- ③ 所属団体への静岡県、焼津市清掃活動に参加

当社のエコアクション2I活動においては省エネ商品の提案、環境に配慮した工事の提案を推進するなどこの国際目標に賛同し社員一人一人が意識して可能な取組を今後も推進していきます。

5. 環境目標

環境目標（令和 5年 3月 1日～令和 6年 2月29日の1年間）

令和 5年度の目標は令和 3年度実績より4%削減(又は増加)に取り組みます。

取組項目			単位	令和3年度	令和5年度
				基準値	目標
二酸化炭素排出量 購入電力排出係数 (0.424Kg-CO2/KWh)	購入電力		Kwh	17,725	17,043
	化石燃料	ガソリン	L	9,286	8,929
		軽油	L	852	819
		計	L	10,138	9,748
		L P G	kg	1.4	1.3
	総量		Kg-CO2	32,839	31,576
廃棄物排出	一般廃棄物		Kg	2,732	2,627
	産業廃棄物		Kg	14,474	13,917
	年間総排出量		Kg	17,206	16,544
	再生資源化率		%	91.20	94.85
グリーン購入適合商品	購入比率		%	94.9	94.9
顧客アンケートの満足度	希望工期は守られたか		点	85	88
	施工担当者の対応		点	85	88
	環境への配慮		点	85	88
	富士電工へ依頼して良かったか		点	81	84

※中部電力ミライズ[®] 購入電力排出係数は
0.424Kg-CO2/Kwhで設定。
水使用量は環境負荷が少なく、
改善活動が定着したため
環境目標は作成せず、実績を把握し
「適正管理」を行っています。

※グリーン購入適合商品はR2年度の
基準値維持としています。

環境目標（長期）

令和 3年を基準として毎年1%ずつ削減し、(又は増加)令和 8年までに合計7%の削減(又は増加)を
目標に環境活動に取り組んでいます。※グリーン購入適合商品はR2年度の基準値維持

(各年度は期首3月1日～期末2月末日)

取組項目			単位	令和3年度 基準値	令和6年度 5%削減	令和7年度 6%削減	令和8年度 7%削減
二酸化炭素排出量	購入電力		Kwh	17,725	16,881	16,722	16,565
	化石燃料	ガソリン	L	9,286	8,844	8,760	8,679
		軽油	L	852	811	804	796
		計	L	10,138	9,655	9,564	9,475
		L P G	Kg	1.4	1.3	1.3	1.3
	購入電力排出係数 (0.424Kg-CO2/KWh)		年間排出量 (Kg-CO2/年)		32,839	31,275	30,980
廃棄物排出	一般廃棄物		Kg/年	2,732	2,602	2,577	2,553
	産業廃棄物		Kg/年	14,474	13,785	13,655	13,527
	年間総排出量 (Kg/年)			17,206	16,387	16,232	16,080
	再生資源化率		%	91.20	95.76	96.67	97.58
グリーン購入適合商品	購入比率		%	94.9	94.9	94.9	94.9
顧客アンケートの満足度	希望工期は守られたか		点	85	89	90	91
	施工担当者の対応		点	85	89	90	91
	環境への配慮		点	85	89	90	91
	富士電工へ依頼して良かったか		点	81	85	86	87

6. 令和 5年度部門別環境活動計画

【担当部署：総務経理G・積算設計G】

<期間 R5.3～R6.2>

取組項目	活動内容	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
電力消費量削減	①エアコンのオフタイマーの設定を実施する (夏場28度・冬場20度設定を基本)												
	②外出時等、長時間使用しない場合は パソコンの電源を落とすか、節電モードにする												
	③照明器具及びエアコンのフィルターの清掃を 年1回以上実施する												
	④昼休み12:15までに業務時間に必要のない場所は消灯する												
	⑤空調機定期点検時の室外機底を点検する												
	⑥使用量を見える化する												
廃棄物排出量削減 (④は総務経理G担当)	①分別BOXの有効活用と活用ルールを徹底する (産廃物・可燃ごみ・缶・ペットボトルの分別)												
	②ペーパーレス文書を推進する 図面等必要なものだけをプリントするよう仕分ける												
	③確認用書類はモノクロ印刷、両面や集約印刷を使う												
	④個人使用量を見える化する(コピー、プリンター) 個人認証機能を使い確認後印刷することにより不要な印刷・コピーの削減をする												
グリーン商品購入 (総務経理G担当)	①事務用品等の購入時、グリーン商品購入比率を 90%以上とする												
	②定期的に購入品を見直しする(四半期ごと) 毎月末に事務用品の在庫確認、常時在庫のものを切らさないよう手配する												
総排水量削減 (①、④は総務経理G担当)	①水量計の漏れの確認を年4回実施する												
	②トイレの大小、eco小ボタンの使い分けを徹底する												
	③使用量を見える化する												

【担当部署：積算設計G・営繕計装G・施工管理G・工事施工G】

<期間 R5.3～R6.2>

取組項目	活動内容	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
顧客アンケートの満足度	①希望工期は守られましたか												
	②施工担当者は、自己の知識・経験を十分活用し、 得意先のニーズに対応していたか												
	③現場での環境への配慮は適切であったか												
	④最終的に、(株)富士電工に工事を依頼した事は良かったですか												

※顧客アンケートの満足度・・・アンケート調査は年2回実施(5月・11月)、その他の月は意識を持って取組こととしています。

総排水量削減	①防火用水を有効活用する												
	②トイレの大小、eco小ボタンの使い分けを徹底する												
リサイクルの推進	①使用しなかった残余資源は速やかに返品する (購入時返品可能、不可の確認)												
	②発生した残余資源を有効活用する (定期的に倉庫の整理をし使用できる残材を確認する。電線・蛍光灯の処分)												
	電線は再利用できるものと処分するものの区分けを確実にを行う												
	③電池類の適正な処理・分別状況を定期的に点検する												
現場での環境活動	①現場の廃棄物を分別する												
	②車内、工具等を整理する												
	③工具を点検、整備する(年4回程度、安全朝礼実施時)												
ガソリンの削減	①車輛のアイドリングストップを実行する												
	②タイヤの空気圧、スリップサインを確認する												
	③バッテリー、オイルを点検する												

7. 環境目標の取組結果の評価

取組項目			単位	令和3年度	令和5年度				結果	
				基準値	目標 4%削減	実績	基準値比	目標比		
二酸化炭素排出量 購入電力排出係数 (0.424kg-CO2/kwh)	購入電力		Kwh	17,725	17,043	18,108	97.88	94.12	△	
	化石燃料	ガソリン	L	9,286	8,929	9,608	96.65	92.93	△	
		軽油	L	852	819	644	132.30	127.21	○	
		計	L	10,138	9,748	10,252	98.89	95.08	○	
		L P G	kg	1.4	1.3	1.2	116.67	108.33	○	
	総量		Kg-CO2	32,839	31,576	31,635	103.81	99.81	○	
廃棄物排出	一般廃棄物		Kg/年	2,732	2,627	1,708	159.95	153.80	○	
	産業廃棄物		Kg/年	14,474	13,917	14,015	103.28	99.30	○	
	年間総排出量		Kg/年	17,206	16,544	15,723	109.43	105.22	○	
	再生資源化率		%	91.20	94.85	88.30	96.82	93.10	△	
グリーン購入適合商品			購入比率	%	94.9	94.9	83.0	87.46	87.46	△
顧客アンケートの満足度 (平均点)	希望工期は守られたか		点	85	88	83	97.65	93.89	△	
	施工担当者の対応		点	85	88	90	105.88	101.81	○	
	環境への配慮		点	85	88	86	101.18	97.29	○	
	富士電工へ依頼して良かったか		点	81	84	83	102.47	98.53	○	

(注) ○は目標値の95%以上目標達成 △は目標値の80%~95% ×は目標値の80%未満 △、×は要改善

◇EA21推進委員会による実績評価◇

【総評】

取組目標項目が15項目の内、○ 10項目 △ 5項目 × 0項目でした。(目標達成率67%)

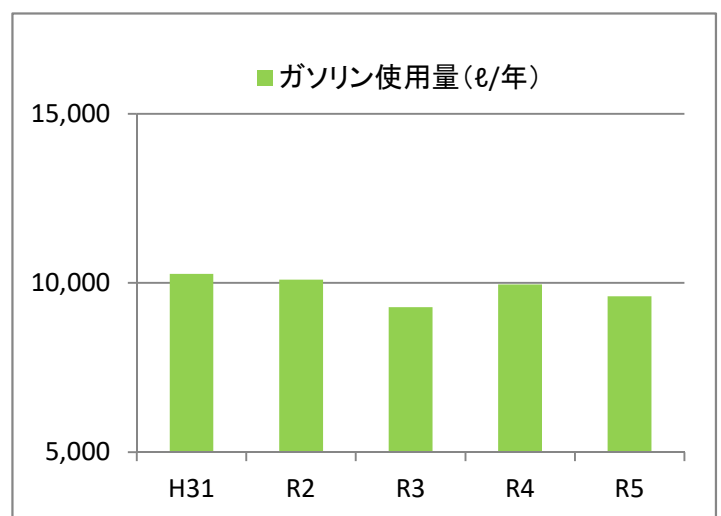
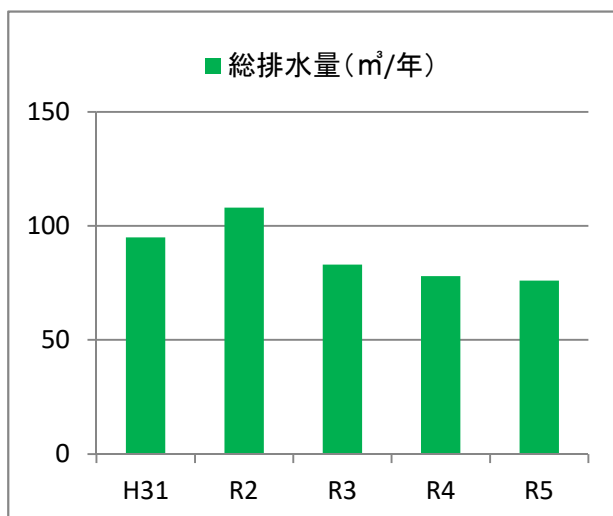
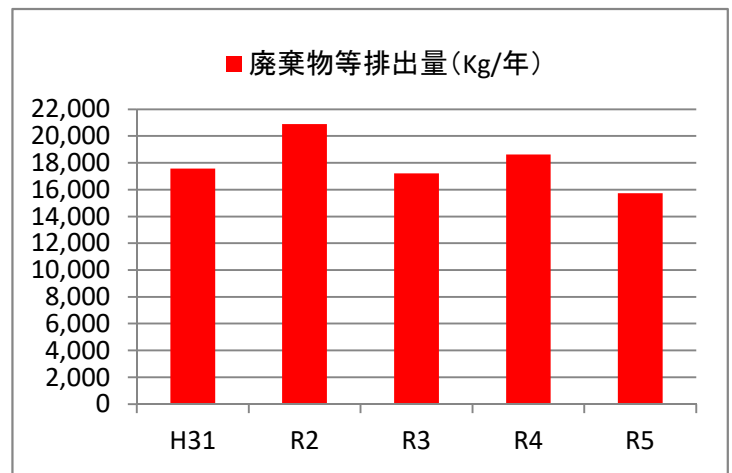
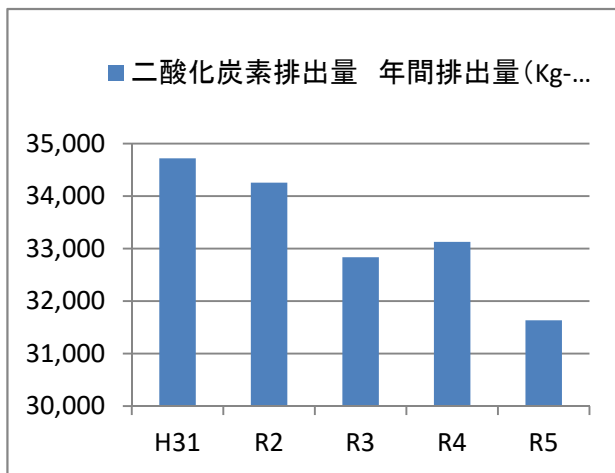
購入電力消費量	目標値よりやや増加のため、事務所内不要な照明消灯など更に周知・徹底したい。 エアコンについてはその日の天気も見ながら、決めてある温度設定からかけ離れないよう注意していきたい。
ガソリン、軽油消費量 LPG	使用する車両台数や仕事量に左右されるが、引き続き燃費の良い運転を心掛けたい。 LPGについては基準値、目標値の見直しをしたためほぼ変わらない数値となっている。
廃棄物排出	一般廃棄物についてはペーパーレス化が進んできたことにより廃棄する紙類が以前より減少したと考えられる。 産業廃棄物は仕事量に左右される部分のため、今年度排出量は増加となった。 引き続き再生資源との分けを意識し再生資源化率を上げていきたい。
現場での取組	産廃物の分け、購入した材料が無駄にならないよう引き続き各自管理意識を持たせる。
顧客アンケートの満足度	世代交代が進む中で、施工担当者に対しての点数が上がったことは評価したい。 その他項目については、目標からかけ離れた点数ではないが引き続き各社員意識して対応していきたい。

8. 環境実績

当社における環境負荷の現状として二酸化炭素排出量、廃棄物等総排出量の過去5年間にわたる実績は以下の通りである。

(各年度の期首3月1日～期末2月末日)

項目	単位	H31	R2	R3	R4	R5
二酸化炭素排出量	年間排出量 (Kg-CO2/年)	34,720	34,258	32,839	33,128	31,635
廃棄物等排出量	年間総排出量 (Kg/年)	17,563	20,895	17,206	18,632	15,723
総排水量	年間総排出量 (ℓ/年)	95	108	83	78	76
ガソリン使用量	年間総使用量 (ℓ/年)	10,266	10,101	9,286	9,951	9,608



9. 令和5年度部門別環境活動実績

※ 活動率 ○=70%以上 △=30%～70% ×=30%以下（グリーン商品:90%以上は○、90%以下は×）

【担当部署：総務経理G・積算設計G】

<期間：R5.3～R6.2>

取組項目	活動内容	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
電力消費量削減 (⑥は総務経理G担当)	①エアコンのオフタイマーの設定を実施する (夏場28度・冬場20度設定を基本)	—	—	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○
	②外出時等、長時間使用しない場合は パソコンの電源を落とすか、節電モードにする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③照明器具及びエアコンのフィルターの清掃を 年1回以上実施する	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
	④昼休み、業務時間に必要のない場所は消灯する (昼休みは12:15までに必要のない場所は消灯する)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑤空調機定期点検時の室外機底を点検する	—	○	—	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	⑥使用量を見える化する	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
廃棄物排出量削減 (⑤は総務経理G担当)	①分別BOXの有効活用と活用ルールを徹底する (産廃物・可燃ごみ・缶・ペットボトルの分別)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②ペーパーレス文書を推進する(電帳法に沿った保存方法確率) 図面等必要なものだけをプリントするよう仕分ける	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③確認用書類はモノクロ印刷、両面や集約印刷を使う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	④個人使用量を見える化する(コピー、プリンター) 個人認証機能を使い確認後印刷することにより 不要な印刷・コピーの削減をする	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
グリーン商品購入 (総務経理G担当)	①事務用品等の購入時、グリーン商品購入比率を 90%以上とする	—	○	—	—	○	○	—	×	○	—	×	○
	②定期的に購入品を見直しする(6,10,1,2月) 毎月末には事務用品の在庫を確認し、 常時在庫のものを切らさないよう手配する	○	—	—	○	○	—	—	—	—	○	○	○
水使用量削減 (①③は総務経理G担当)	①水量計の漏れの確認を年4回実施する	—	—	—	—	—	8/1	—	—	11/1	—	—	2/1
	②トイレの大小、eco小ボタンの使い分けを徹底する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③使用量を見える化する	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

※ 活動率 ○=70%以上 △=30%～70% ×=30%以下（グリーン商品:90%以上は○、90%以下は×）

【担当部署：積算設計G・営繕計装G・施工管理G・工事施工G】

<期間：R5.3～R6.2>

取組項目	活動内容	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
顧客アンケートの満足度	①希望工期は守られましたか	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—
	②施工担当者は、自己の知識・経験を十分活用し、 得意先のニーズに対応していたか	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—
	③現場での環境への配慮は適切であったか	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—
	④最終的に、(株)富士電工に工事を依頼した事はよかったか	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—

※顧客アンケートの満足度・・・アンケート調査は今年度より年2回実施、その他の月は意識を持って取組むこととしています。

実績は、アンケートを行った月に○を入れています。

総排水量削減	①防火用水を有効活用する	△	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○
	②トイレの大小、eco小ボタンの使い分けを徹底する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③使用量を見える化する	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
リサイクルの推進	①使用しなかった残余資源は速やかに返品する (購入時返品可能、不可の確認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②発生した残余資源を有効活用する 電線は再利用できるものと処分するものの 区分けを確実に行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③電池類を適正に処理する	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
現場での環境活動	①現場の廃棄物を分別する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②車内、工具等を整理する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③工具を点検、整備する(年4回、安全朝礼実施時)	—	4/22	—	—	7/28	—	—	10/20	—	—	1/19	—
ガソリンの削減	①車輛のアイドリングストップを実行する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②タイヤの空気圧、スリップサインを確認する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③バッテリー、オイルを点検する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

10. 今年度の環境活動等

※SDGsのターゲットアイコン・・・当社が取り組んでいるテーマを表示しています

<社内>

☆防火用水ドラム缶の補修☆



⇒



防火用水、道具洗浄用のドラム缶が劣化してきたため補修を行いました。

☆空調機定期点検☆



3ヶ月ごとに事務所内空調機の定期点検を実施。

事務所屋上に設置してある空調室外機には直射日光が当たらないよう庇を取付けています。

点検の際に併せて庇の状況も確認し、補修・調整を行うようにしています。



☆車両・工具点検☆



月1回の安全朝礼時に車両・工具の点検を実施



<社内>

☆安全朝礼での社員向け講習☆



担当者が取引会社の安全協議会へ参加し、月1回の安全朝礼にて協議会内容を社員に伝達。

また、安全朝礼では現場管理を担当する社員からも上記以外の安全に関して注意事項の伝達があります。



☆地元工業高校、短期大学校生インターンシップ☆



10月、11月 地元高校生、短期大学校生インターンシップを行いました。

高校生には電気設備業界の役割や業務を知って興味を持っていただき、進路に役立てていただきたいと、短期大学校生は弊社に入社が内定している生徒さんに実際の作業を体験していただきました。

現場案内・作業体験講師は中堅社員が行いました。



<社外>

☆今年度の主な施工実績☆



公共工事

病院宿舍建設工事



高圧設備取替修繕



道路照明LED化工事 更新前



更新後



道路照明LED化工事 更新前



更新後



電気自動車用急速充電装置設置



水産会社高圧改修工事



高圧改修工事(塩害地域) 更新前



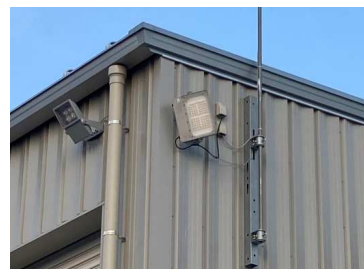
更新後



事務所ビルLED化、高圧改修工事



工場・倉庫LED化工事



太陽光設備工事



空調機取替工事 更新前



更新後

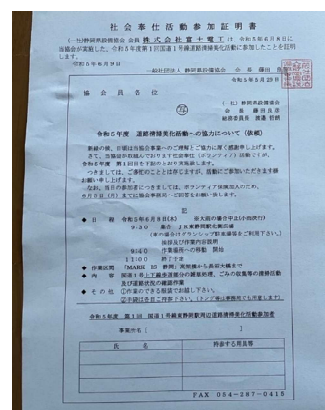


☆所属団体主催による清掃活動への参加☆



今年度は6月、11月に参加しました。

<(一社)静岡県設備協会主催・東静岡駅周辺の清掃活動>



11. 環境活動の実施状況評価

【担当部署：総務経理G・積算設計G】

取組項目	活動内容		評価	次年度
電力消費量削減	①エアコンのオフタイマーの設定を実施する (夏場28度・冬場20度設定を基本)	○	①オフタイマーは実施できている 設定温度については気象条件により 変動することがあるが概ねできていた	継続
	②外出時等、長時間使用しない場合は パソコンの電源を落とすか、節電モードにする	○	②連休などの長期休日の時は データバックアップなどを実施、 特に注意して確認するようにした	継続
	③照明器具及びエアコンのフィルターの清掃を 年1回以上実施する	○	③年末大掃除の時に実施	継続
	④昼休み12:15までに業務時間に必要のない場所は消灯する	△	④場所によって消灯していない箇所があり、 意識づけが必要	継続
	⑤空調機定期点検時の室外機底を点検する	○	⑤その他は計画通り実施	継続
	⑥使用量を見える化する	△	⑥資料の作成方法見直しの予定のため 途中から未実施	継続
廃棄物排出量削減 (④は総務経理G担当)	①分別BOXの有効活用と活用ルールを徹底する (産廃物・可燃ごみ・缶・ペットボトルの分別)	○	①概ねできていた	継続
	②ペーパーレス文書を推進する 図面等必要なものだけをプリントするよう仕分ける	○	③業務内容によるので前年度との 比較は難しいが両面・集約コピー等の機能を活用した	継続
	③確認用書類はモノクロ印刷、両面や集約印刷を使う	○	④各社員意識して使用していると 見受けられる	継続
	④個人使用量を見える化する(コピー、プリンター) 個人認証機能を使い確認後印刷することにより不要な印刷・コピーの削減をする	×	⑤データ集計方法の見直しを行ったが 作成や全社員へ公開ができなかった	継続
グリーン商品購入 (総務経理G担当)	①事務用品等の購入時、グリーン商品購入比率を 90%以上とする	△	①83%で目標未達成だが 購入時にグリーン商品選定の意識はしていた	継続
	②定期的に購入品を見直しする(四半期ごと) 毎月末には事務用品の在庫を確認し、 常時在庫のものを切らさないよう手配する	△	②決算前に購入品の選定を行ったが 在庫調査がしっかりできていない月があっ た	継続
水使用量削減 (①③は総務経理G担当)	①水量計の漏れの確認を年4回実施する	○	①年間通じて異常なし	継続
	②トイレの大小、eco小ボタンの使い分けを徹底する	○	②水の使用量に大きな変化がないため概ねできている	継続
	③使用量を見える化する	△	③資料の作成方法見直しの予定のため 途中から未実施	継続

【担当部署：積算設計G・営繕計装G・施工管理G・工事施工G】

取組項目	活動内容	評価		次年度
顧客アンケートの満足度	①希望工期は守られましたか(昨年84点)	△	①昨年より1点ダウン(83点)目標値からは5点ダウン	継続
	②施工担当者は、自己の知識・経験を十分活用し、得意先のニーズに対応していたか(昨年85点)	○	②昨年より5点アップ(90点)目標値からは2点アップ	継続
	③現場での環境への配慮は適切であったか(昨年88点)	△	③昨年より2点ダウン(86点)目標値からは2点ダウン	継続
	④最終的に、(株)富士電工に依頼した事はよかったか(昨年84点)	△	④昨年より1点ダウン(83点)目標値からは1点ダウン	継続

※顧客アンケートの満足度・・・アンケート調査は年2回実施(5月・11月)、その他の月は意識を持って取組としています。

水使用量削減	①防火用水を有効活用する	○	①補修で使用できない時期を除き概ね使用していた	継続
	②トイレの大小、eco小ボタンの使い分けを徹底する	○	②水の使用量に大きな変化がないため概ねできている	継続
リサイクルの推進	①使用しなかった残余資源は速やかに返品する (購入時返品可能、不可の確認)	○	①担当現場終了時に返品処理を心掛けていた	継続
	②発生した残余資源を有効活用する (定期的に倉庫の整理をし使用できる残材を確認する。電線・蛍光灯の処分)	○	②定期的に現場の人達数人で 整理を行い実施できた	継続
	③電池類の適正な処理・分別状況を定期的に点検する	△	③量が少ないため処分はなし。 分別は点検できた。	継続
現場での環境活動	①廃棄物を分別する	○	①現場では分別ボックスが設置されている ところが多く、実施できていた	継続
	②車内、工具等を整理する	△	②声掛けは行っていたがもっと意識づけしたい	継続
	③工具を点検、整備する(年4回程度、安全朝礼実施時)	○	③計画した日程で実施した	継続
ガソリンの削減	①車輛のアイドリングストップを実行する	○	①毎月の点検時に行った	継続
	②タイヤの空気圧、スリップサインを確認する	○	②毎月の点検時に行った	継続
	③バッテリー、オイルを点検する	○	③毎月の点検時に行った	継続

12. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画（次年度の取組内容）

【担当部署：総務経理G・積算設計G】

取組項目	令和6年度取組（案）
電力消費量削減	①エアコンのオフタイマーの設定を実施する（夏場28度・冬場20度設定を基本）
	②外出時等、長時間使用しない場合はパソコンの電源を落とすか、節電モードにする
	③照明器具及びエアコンのフィルターの清掃を年1回以上実施する
	④昼休み、12:15までに業務に必要なない場所は消灯する
	⑤空調機定期点検、室外機底の点検する（4, 7, 10, 1月）
	⑥使用量を見える化する（伝達方法の改善決定、実施）
廃棄物排出量削減	①分別BOXの有効活用と活用ルールを徹底する（産廃物・可燃ごみ・缶・ペットボトルの分別）
	②電帳法に沿った書類整理 必要なものをコピー、プリントするよう仕分ける
	③確認用書類は両面や集約印刷を使う
	④使用量を見える化する（コピー、プリンター使用量 伝達方法の改善決定、実施） 個人認証機能を使い確認後印刷することにより不要な印刷・コピーの削減をする
グリーン商品購入	①事務用品等の購入時、グリーン商品購入比率を90%以上とする
	②定期的に購入品の見直しを行う（6月、10月、1月、2月） 毎月末には事務用品の在庫を確認し、常時在庫のものを切らさないよう手配する
総排水量削減	①水量計の漏れの確認を年4回実施する
	②トイレの大小、eco小ボタンの使い分けを徹底する
	③使用量を見える化する（伝達方法の改善決定、実施）

【担当部署：積算設計G・営繕計装G・施工管理G・工事施工G】

取組項目	令和6年度取組（案）
顧客アンケートの満足度 （アンケート項目）	①希望工期は守られましたか
	②施工担当者は、自己の知識・経験を十分活用し、得意先のニーズに対応していたか
	③現場での環境への配慮は適切であったか
	④最終的に、(株)富士電工に工事を依頼した事はよかったか
総排水量削減	①防火用水の有効活用する
	②トイレの大小、eco小ボタンの使い分けを徹底する
	③使用量を見える化する（伝達方法の改善決定、実施）
リサイクルの推進	①使用しなかった残余資源は速やかに返品する（購入時返品可能、不可の確認）
	②発生した残余資源を有効活用する（定期的に倉庫の整理をし使用できる残材を確認する） 電線は再利用できるものと処分するものの区分けを確実にを行う
	③電池類の適正な処理・分別状況を定期的に点検する
現場での環境活動	①現場の廃棄物を分別する
	②車内、工具等を整理する
	③工具を点検、整備する（年4回位、安全朝礼実施時）
ガソリンの削減	①車輛のアイドリングストップを実行する
	②タイヤの空気圧、スリップサインを確認する
	③バッテリー、オイルを点検する

※活動目標を月毎に確認し、出来ていない項目を掲示して、社員の意識を高め、改善していきます。

13. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1) 適用される主な環境関連法規

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

遵守状況 令和 5年 2月28日確認

象 適用 対	法律・条例・規則	該当する 条項等	要求事項・責務	具体的確認内容	今年度 該当の 有無	遵守 状況
電 気 工 事 業 者 と し て 遵 守 す る 法 律	電気事業法	第1条	公共の安全の確保、及び 環境の保全を図る	電気事業の適性かつ合理的運営	有	○
	建設リサイクル法	第9条 第16条	対象建設工事の分別解体、及び 再資源化の義務付け	現場における標識の掲示、分別、再資源化の適正処理	有	○
	廃棄物の処理に関する法律	第12条	処理業者との委託契約	契約書の締結・許可証確認	有	○
			マニフェスト伝票の交付	都度、伝票の発行・返却伝票確認	無	—
			マニフェスト伝票の保管	A、B、D、E票のファイル保管	無	—
			電子マニフェストの管理	廃棄物を引渡した日から3日以内に 情報処理センターに登録 運搬終了、処分、最終処分終了報告の確認	有	○
			マニフェスト交付等状況報告義務	①紙マニフェストを発行した場合は4月1日から3月31日迄の 1年間を6月30日迄に事業場所所在地を管轄する 都道府県知事に報告しなければならない ②マニフェストが返送されてこなかった時、記載漏れが あった時、虚偽記載があった時は、必要処置を講じた 後、 措置内容を都道府県知事に報告する	無	—
		第6条	水銀使用製品産業廃棄物の処理	蛍光灯等水銀を含むものについては 許可業者に依頼し運搬・処分を行う	有	○
	静岡県産業廃棄物の適正な処理に 関する条例			定期的な実地確認（年1回程度） ※優良業者と契約のため省略、 請け負った公共工事に産廃処分があった時は追跡	有	○
	労働安全衛生法	第66条 1項	健康の保持増進のための措置	有害な業務を行う作業場では必要な作業 環境測定を行い、その結果の記録をとる	無	—
	騒音規制法	第14条	事業場での騒音防止	指定地域での作業日、時間帯規制の遵守	有	○
	家電リサイクル法	第6条	指定家電商品の引取、引渡	テレビ・エアコン他指定商品を指定業者に引き渡す	無	—
			リサイクル券の保管	排出者控④票を保管管理	無	—
	自動車リサイクル法	第5条	車両入替時、適正に処理	引取業者への引渡	無	—
	資源有効利用促進法	第4条	パソコンのリサイクル	メーカー等による回収、リサイクル	無	—
	フロン排出抑制法	第16条	冷凍空調機器： 全ての第一種特定機器が対象 自身での「簡易点検 （3ヶ月に1回以上実施） 電動機定格出力に応じて 有資格者による「定期点検」 不要になったフロンの回収・破壊処 理	企業・法人の管理者が確認	有	○

※エコアクション21ガイドライン2017年度版の「環境関連法規など」他を参照

2) 違反、訴訟等

関係機関からの違反の指摘、利害関係者からの苦情、訴訟の問題は過去3年間ありませんでした。

3) 近隣住民からの苦情等は特にありませんでした

14. 代表者による全体の評価と見直し

I. 評価・見直し

	評価	見直し等
環境経営方針	①今年度も社内講習(技術講習)は業務多忙により開催ができなかったが安全に対する意識づけのため安全朝礼は継続、またインターンシップも継続できた ②LED化工事、受変電設備他大型受注、完成(公共：5件 民間：13件)	①社内講習の継続 インターンシップの受入れ等外部の機関以外にも新規雇用ができるよう宣伝活動を継続する ②過去に施工した工事の整理は継続し、経年劣化による取替工事等が受注できる体制や補助金提案ができるよう全員が制度の内容を理解する
環境目標 及び 環境活動計画	①電力消費量については、基準値より減少・目標値からは増加となったが昼休みの消灯などは継続している ②ガソリン・軽油については定期的な車両点検により、効率を上げる取組を行ったがガソリンは増加、軽油は昨年より減少となった ③一般廃棄物 タンボールは現場状況により廃棄物量が増減する部分であるため比較が難しいが今年度は減少となった ④産業廃棄物 受注した工事量や工事内容によって廃棄物の量、再生資源量の増減はありますが、今年度は増加となった	①エアコン使用については、設定などで適切な使用方法を継続する 電灯はLED化していることから使用方法によって更に減少できる項目、必要のない箇所の消灯を継続する また、顧客に情報提供できる資料作りも継続する ②受注量により増減する部分ではあるが、社用車の車種によって燃費の差が出ている 今年度は社用車を1台増加したので引き続き燃費を抑えられる運転の仕方、積荷の方法に努める ③業務効率化を図るための資料整理のため廃棄物の減少にはならない可能性もあるが、新規作成する資料のペーパーレス化など推進委員からの声掛けを継続すること ④工事状況にあった産廃物の分別を徹底し、再生資源として活用できるものを見極めるよう更に努める(特に電線類) 倉庫整理については工事関係のグループリーダーを中心に工事関係社員全員で知恵を出し合い前進出来るよう取組む
実施体制	①EA21推進委員会の定期的な開催、訓練等の計画・実行した ②各社員が意識を持って取り組んだ	推進委員会の開催、訓練等の計画・実行、声掛けを継続する

II. その他

- LED照明器具取替や高圧機器の経年劣化による取替工事については、相談や工事依頼が今後も続くと予想されます。
 各種補助金が定期的に発表されるので、確実に受注しお手伝いができるように、情報の収集や早めの提案、環境に配慮した施工を全員で取組んでいきたいと思っています。
 今年度は通常行っているインターンシップに加え、入社内定をしている生徒さんに現場体験をしていただきました。入社後のイメージが少しでもできたのではないのでしょうか。
 近年は新卒雇用人数が減少しているため、コンサルタントの助言も受けながら求人資料等を見直し、各学校への求人活動も強化していきたいと思っています。
- 工事ごとに発生する残材の有効活用について、社員全員の意識を強化し定期的な残材料整理、再使用を更に促進、現場状況に合った産業廃棄物の低減に努めていきたいと思っています。
 また、材料購入時に返品が可能・不可能であるかを確認し残材料(産業廃棄物)が増えないよう更に努めていきたいと思っています。

令和 6年 2月29日

株式会社 富士電工

代表取締役 池谷孝宣